

観光地「世界文化遺産・宮島」の玄関口の渋滞対策 ～ 既存インフラを活用した社会実験の取り組み ～

広島県 廿日市市 建設部 監理課

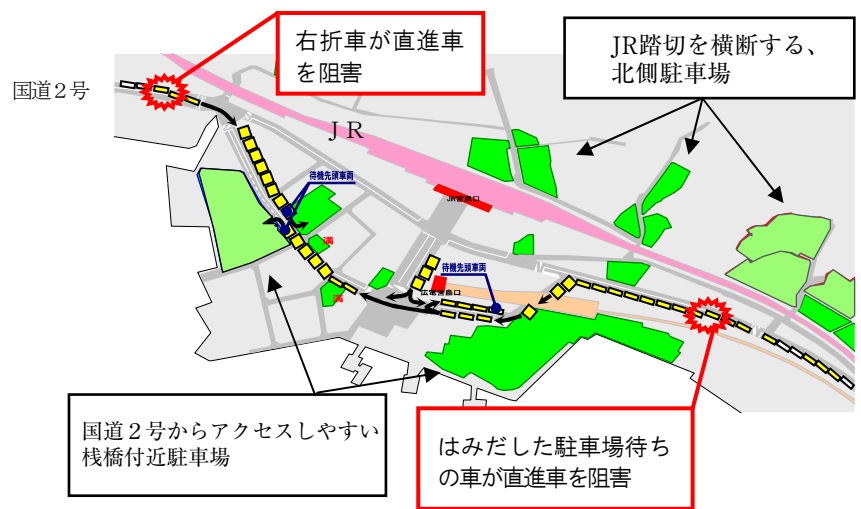
1. はじめに

世界文化遺産「厳島神社」を擁する宮島は、朱の鳥居、緑の弥山が平安の昔さながらの姿を今日まで伝えており、文化的価値や日本三景の一つとしてその名が知られ、国内だけでなく海外からも来島されています。

平成 21 年 3 月末には、高速道路料金の ETC 休日特別割引が始まり、高速道路を利用した観光客も増え、平成 21 年の来島者数は 346 万人となり過去最高となりました。

このような中、宮島のある広島県西部地域は、東西を結ぶ幹線道路が、広島岩国道路と国道 2 号しかないため、無料の国道 2 号に交通が集中します。

また、相対的に駐車場が少なく、駐車場待ちの車により通過交通が阻害されるなど、観光期には国道 2 号は大渋滞となります。(平成 21 年のゴールデンウィーク、シルバーウィークでは 10 キロを超える渋滞が発生)



2. 社会実験の概要

1) 実験の目的

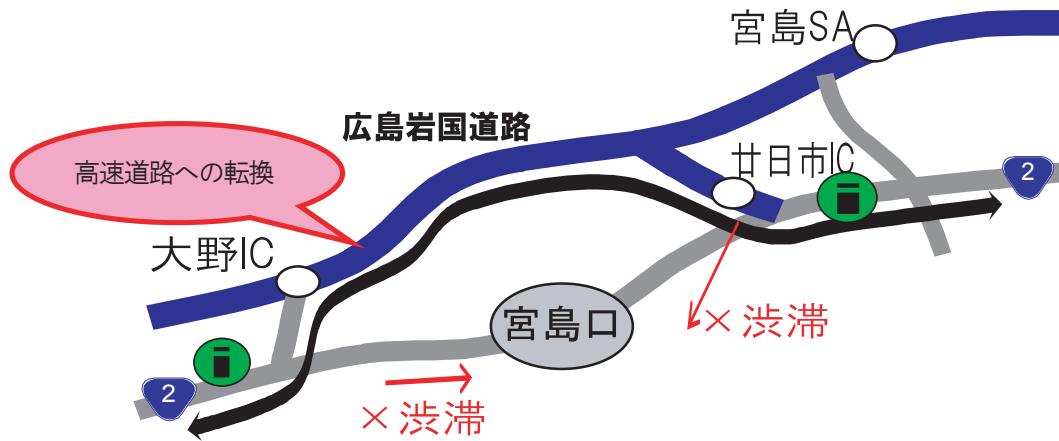
道路管理者としては、渋滞対策は喫緊の課題であり、長期間に渡る大規模対策を待っていては、観光地として大幅なイメージダウンにも繋がるため、バイパスや大規模駐車場の整備などのハード整備に頼らず、速やかに実施できるソフト対策でどの程度渋滞が緩和されるかを検証しました。

具体的には、国道 2 号の道路管理者である国土交通省と連携して、既存ストックの有効活用により、渋滞の緩和を目指すもので、下記の対策を平成 21・22 年度の 2 ヶ年に渡り実施し、継続的な対策に繋げることを目的としました。

2) 実験メニュー

【対策① 高速道路への転換】

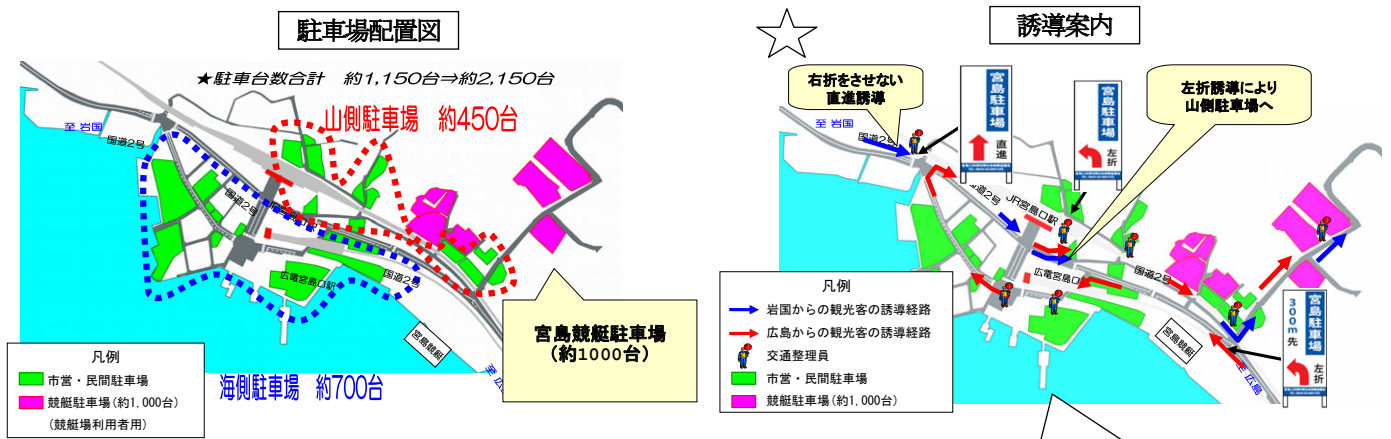
国道 2 号宮島口の混雑状況を情報提供し、並行する広島岩国道路（廿日市 IC ～大野 IC）への転換を促し、通過交通の排除を目指します。



【対策② 駐車場案内・誘導】

宮島口には、官民合わせて約 1,150 台の駐車場がありますが、観光客にとって判りやすい海側駐車場に集中し、駐車待ちの車が国道 2 号まで並び、渋滞の要因となっています。このため、空きのある山側駐車場へ案内・誘導する事により、駐車場利用の平準化を図り、通過交通を阻害する駐車待ちの車を国道 2 号から排除します。

また、普段は観光利用できない宮島競艇駐車場（約 1,000 台）を活用し、最大で約 2,150 台の駐車場を確保します。

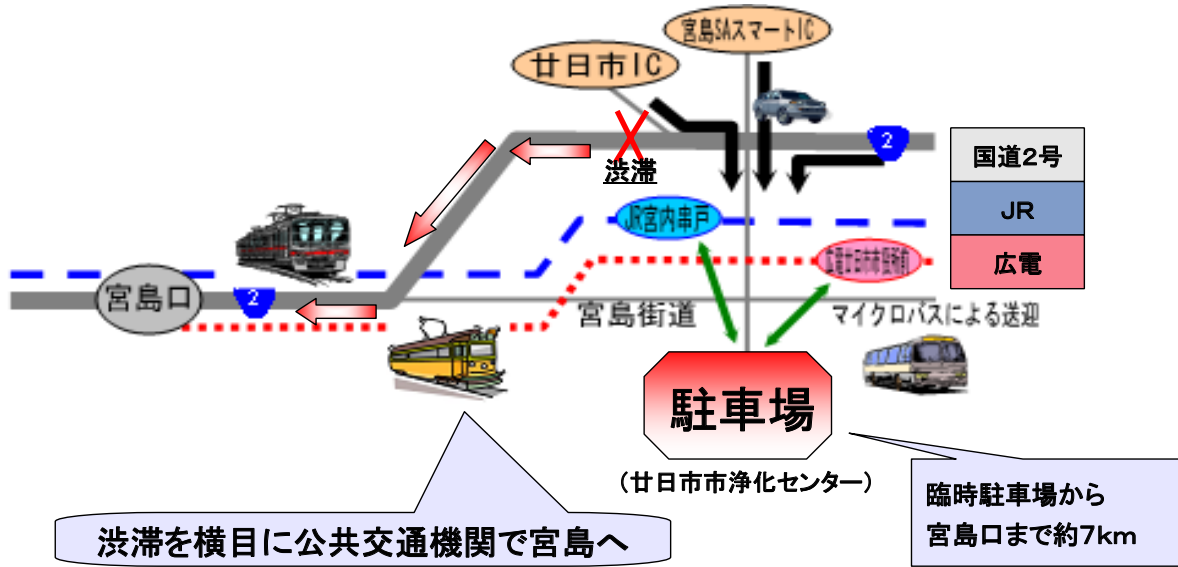


- ・ 点在する駐車場を効率的に結ぶルートを設定し空き駐車場へ効率的に誘導
- ・ 極力、右折誘導のないルートを設定する。
- ・ 経路どおり走行して頂くため、交通整理員を25名配置

【対策③ パークアンドバスライド】

宮島口への一般観光車の流入を抑制するため、既存施設を活用した、パークアンドバスライドを行います。

平成 21 年度は、宮島口周辺の小中学校を臨時駐車場としてシャトルバスで宮島口へ送迎しましたが、臨時駐車場の恒久利用に課題があり、平成 22 年度は、恒久利用が可能な市の浄化センターを臨時駐車場とし、直近の JR・広電の駅までシャトルバスで送迎しました。



渋滞を横目に公共交通機関で宮島へ

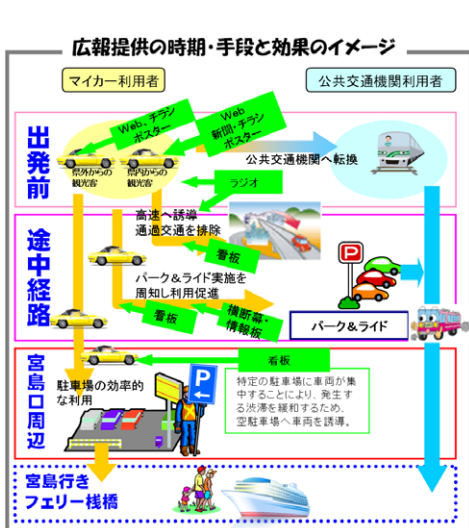
臨時駐車場から宮島口まで約7km



平成21年度実験満車となった小学校グラウンド

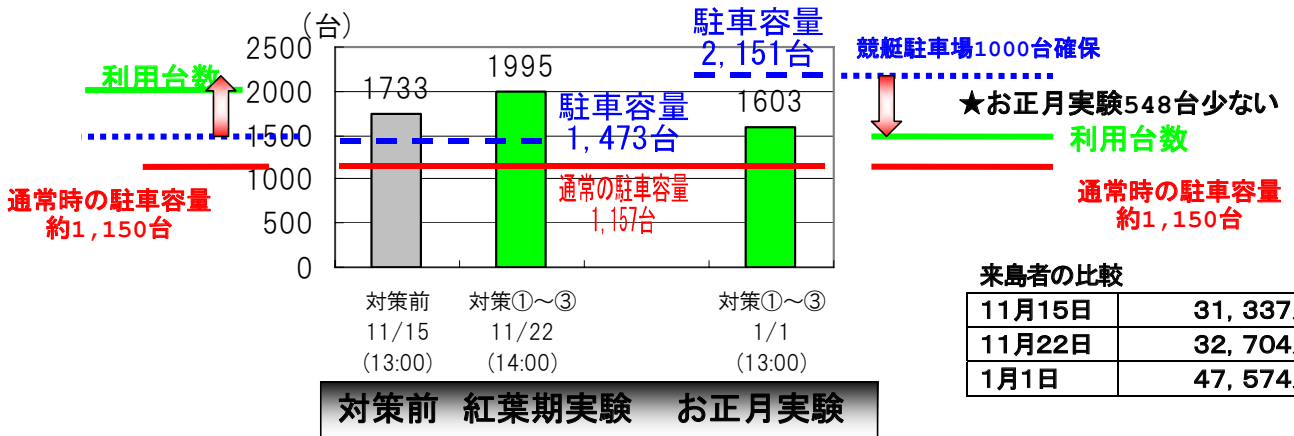
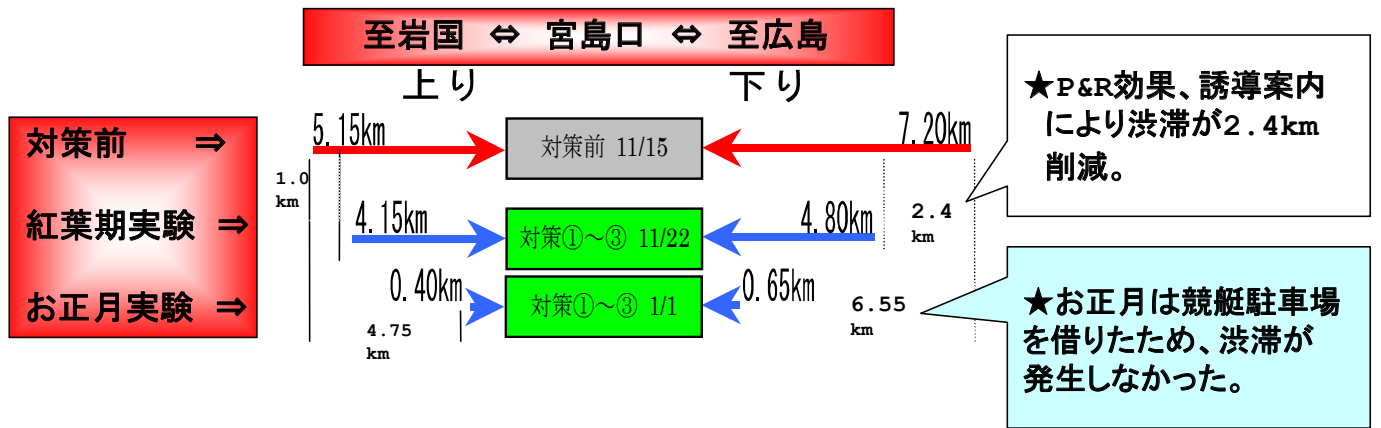
【実験広報】

- 効果的な対策とするためには、広報が重要と考え、広島国道事務所、NEXCO 西日本などの協力へ得て、出発前、途中、現地と手厚い広報を実施しました。
- 特に、サービスエリア、道の駅には添付のチラシを配布しました。



3. 実験の結果

1) 渋滞長の比較



平成 21 年社会実験データより

2) 広島岩国道路への転換

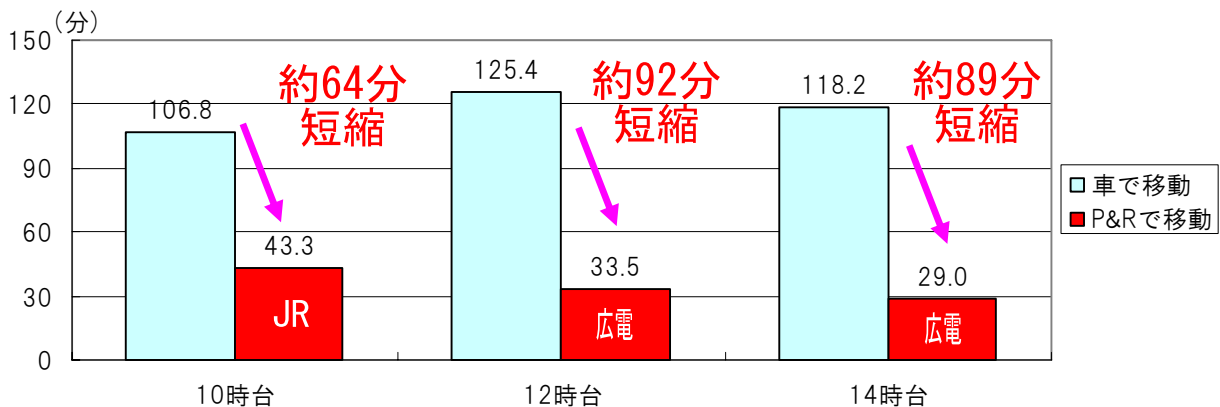
高速料金が高いなどのため、効果の確認が出来なかった。(普通車料金: 廿日市 IC ~ 大野 IC 間 350 円) しかしながら、国道 2 号では、断面交通量の約 45% にあたる 6,100 台 / 9h の通過交通を確認、高速料金の大幅値下げなどにより、相当数の転換が期待出来るものと考えている。

なお、広島岩国道路では、「高速道路の割高区間等の料金割引について (平成 23 年 7 月 15 日発表)」が開始されたことにより、廿日市 IC ~ 大野 IC 間が最安で 150 円 (ETC 割引) と大幅割引となった。

3) パークアンドライドの効果

平成 22 年度に実施した、最寄の公共交通機関を活用したパークアンドライドでは、下記のとおり、直接、宮島口へ車で行った場合に比較して、大幅に移動時間の短縮が図られることが確認できた。

また、利用者アンケートからも満足度が高いことが確認できた。



4) 対策の継続性（対策費用の確保策の検討）

平成 21 年度では、対策の有効性の確認を行い、平成 22 年度は、対策の改善と対策費用の確保策について検証を行った。

- ・ 競艇駐車場を観光客に対して有料駐車場として開放することで、誘導案内経費を上回る協力金が確保できた
- ・ パークアンドライドは民間企業等の協力が無ければ経費の確保が困難であることが確認できた

4. まとめ

- ・ 2 ヶ年に渡る社会実験の結果、既存インフラを活用したソフト対策により、一定の効果が確認できました。
- ・ 対策経費の確保についても、一定の検証が出来ました。
- ・ これらの結果を基に、平成 23 年度以降、誘導案内など出来る対策から実施しています。



- ・ 一方、紅葉シーズンなど多客期にはソフト対策だけでは、限界があることも確認できました。
- ・ 現在、より一層の観光客の増加を目指して、宮島口の整備に着手した所です。

5. おわりに

最後に、社会実験を実施するにあたりご協力いただきました宮島口渋滞対策社会実験協議会の皆様商店会の皆様、地元の皆様、その他の関係機関の皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。今後も一層のご支援・協力をよろしくお願い申し上げます。

(PR)



みやじマリン
宮島水族館

平成23年8月1日に
宮島水族館がリニューアル
オープンします。